

| | | | | | | | |
|------|---|----|----|------|-------------------------|-----------|----|
| 授業科目 | *教育原理 | | | | | 実務家教員担当科目 | - |
| 単位 | 2 | 履修 | 必修 | 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 |
| 担当教員 | 末崎 雅美 | | | | | | |
| 授業概要 | <p>保育・幼児教育における「教育」の意義について理解し、保育者に相応しい教育観を養うことを目的とする。</p> <p>特に「児童中心主義」の教育方法とその理念について様々な教育思想家に学ぶことで理解を十分に深め、子どもの最善の利益を求められる保育者となることをを目指す。</p> <p>また教育制度や学校教育の変遷について学習し、現在の我が国の教育制度における幼児教育の位置づけについて理解し、公教育の概念への理解を深める。</p> <p>さらに地域との連携や小学校への接続など、近年の教育政策の動向を踏まえた我が国の教育制度における幼児教育の位置づけについて理解し、今日における幼児教育の課題について様々な視点から思考し、解決に向かおうとする態度を養う。</p> <p>成績は期末テストと小テスト、提出物、授業態度等で評価を行う。</p> | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | 授業方法 | Google フォームを用いて、振り返りを行う | | |

学生が達成すべき行動目標

| 標準的レベル | <ol style="list-style-type: none">保育・幼児教育における「教育」の意義、教育学の諸概念、教育の本質・目標を理解している児童中心主義の理念や、代表的な教育家の思想や家庭や子どもに関わる思想を理解している我が国の教育制度について、近代教育制度の成立と展開、歴史、教育関係法規、教育政策の動向、諸課題をふくめて理解している教育の場の安全・危機管理について理解している地域との連携・協働による教育活動の意義や方法を理解している社会状況と幼児教育の課題を結びつけて理解し、解決する態度を身につける |
|--------|---|
| 理想的レベル | <ol style="list-style-type: none">「教育者」であることを肯定的に捉え、子どもへの関わりを常に教育的立場で見守ることの出来る保育者になる学校教育制度の成立を学ぶことで、現在の教育の在り方から社会構造について思考し、より良い教育の在り方を求める人物になる |

評価方法・評価割合

| 評価方法・評価割合 | | |
|------------------|----------|-------------------|
| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
| 試験 | 45% | |
| 小テスト | 30% | |
| レポート | 0 | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | 0 | |
| レポート外の提出物 | 15% | ノートプリントの作成 |
| その他 | 10% | 質問やコメントなど積極的な授業態度 |

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 - DP3 ○ DP4 - DP5 - ナンパリング CH21103J

學習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

子音練習（子音一後音）

配布プリントに基づき復習すること

4

授業計画

| | |
|-----------------------|---|
| 第1回 | はじめに 保育における幼児教育の意義 教育制度と社会 家庭と社会・保育者や教師の役割とは |
| | 社会・家族と子ども(1) ルソーの子ども観 自然観的教育の系譜 「子どもらしさ」を支える幼児教育とは 家庭や地域共同体における子育て観の変遷 |
| | 社会・家族と子ども(2) 日本における教育の歴史－社会の近代化と家族・家庭による教育の始まり |
| | 教育思想・歴史(1) 児童中心主義の教育思想、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル |
| 第4回 | 教育思想・歴史(2) 児童中心主義の教育思想、モンテッソーリ、デューイ、倉橋惣三 |
| 第5回 | 公教育とは(1) 公教育とは何か、西洋における近代教育制度の成立と学校 【小テスト①の実施】 |
| 第7回 | 公教育とは(2) 日本における公教育の成立過程－近代から戦後教育まで |
| 第8回 | 公教育とは(3) 日本の公教育を巡る現代的課題－歴史的な視点から考える |
| 第9回 | 公教育とは(4) 教育制度と関係法規、学校教育と社会教育、諸外国の学校制度と日本 |
| 第10回 | 公教育とは(5) 教育行政の理念と仕組み、教育制度・行政の今日の課題とは |
| 第11回 | 今日の幼児教育・保育を巡る課題(1) 保幼小連携、小学校への接続 |
| 第12回 | 今日の幼児教育・保育を巡る課題(2) 新しい学力観と非認知能力 【小テスト②の実施】 |
| 第13回 | 今日の幼児教育・保育を巡る課題(3) 「開かれた学校づくり」とは、チーム学校への対応と幼児教育、学校教育と保育 |
| 第14回 | 今日の幼児教育・保育を巡る課題(4) 地域と保育施設との連携、危機管理と保育、生涯学習時代の幼児教育の意義 |
| 第15回 | まとめ 保育における「教育」とは、現代的課題に対応できる責任ある保育者となるために 学習の振り返り |
| テキスト | 特になし |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育・保育要領」を持参する その他必要な資料などは授業中に適宜紹介する |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 学期末試験の他に、授業内で小テストを数回行います。小テストは採点後に返却し、約1ヶ月間は確認できるように設定しています。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 授業内容は、一年次に履修した「保育原理」がベースとなっている。「保育原理」での学習内容を復習しておくこと。 *講義内容は「保育原理」に比べて難しくなりますが、これまでの経験等と結びつけながら自分なりに理解してください。 *配布プリントは、穴埋めノートプリント形式にしています。ノートプリントと課題は、最終的に提出を求め、評価の対象とします。提出物や課題は提出期限を守るようにして下さい。 |

2025 年度 授業コード : 52100300

